

科目名	歴史Ⅰ History I			担当教員	與田 純		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	16120003	単位区分	履修単位
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質及び人類の課題を広い視野から多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。また、学習教育目標である「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を、授業を通して培っていく。						
進め方	地球的視点から多面的に物事を考える能力：世界の歴史の展開を、広い視野に立って多面的・多角的に捉えさせ、地球世界の課題についても考察する能力を育成する。年間の授業を通して、学習教育目標「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を培っていく。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. メソポタミア文明(2) 2. エジプト文明 (2) 3. オリент世界統一(4) 4. 古代中国文明(2) 5. 秦漢帝国の成立 (2) 6. 魏晉南北朝の動乱(2)			農業と牧畜の発生により世界各地に都市文明が生まれていった。人類の残した古代文明と地域世界の展開にはどのような特色がみられるのか、オリエン特世界と中国を中心に学ぶ。 学習・教育目標：(A-1)			
	[前期中間試験](1)						
	1. 地中海世界とローマ帝国(4) 2. イスラーム世界の成立と展開(2) 3. 隋唐帝国の成立(2) 4. 征服王朝と宋(2) 5. モンゴル帝国の中国支配(2) 6. モンゴル帝国の興亡(1) 7. 明清帝国の繁栄(2)			ローマ帝国に代表される地中海世界における文明の生成と発展、イスラーム世界の成立と展開について学ぶ。近世の中国史とそれが世界史に及ぼした影響について学ぶ。 学習・教育目標：(A-1)			
	前期末試験						
	1. ヨーロッパ世界の展開(2) 2. ビザンツ帝国とオスマン帝国(2) 3. ルネサンスと宗教改革(3) 4. 大航海時代とアメリカ・アフリカ(4) 5. アメリカ大陸の古代文明(2)			ローマ帝国の解体にともなった東西世界の成立について、また「大航海時代」の背景、世界の一体化の進展について学ぶ。 学習・教育目標：(A-1)			
	[後期中間試験](1)						
	1. 北米植民地と英蘭のアジア進出(2) 2. アメリカ独立革命(2) 3. イギリス産業革命と社会問題(4) 4. アヘン戦争とインドの植民地化(2) 5. 清朝末期の動向と辛亥革命(2) 6. 世界市場の形成と世界の分割(3)			アメリカ独立革命や産業革命が19世紀の世界史に与えた影響、世界資本主義システムの形成、帝国主義の世界分割、これに対する中国などアジア諸国の対応などを学ぶ。 学習・教育目標：(A-1)			
	後期末試験						
	試験返却(1)						
評価方法	・評価の内訳は、発表点を5%程度、定期試験結果を95%程度とする。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは、1.～4.のそれぞれについて25%、25%、25%、25%とする。						
履修要件	特に無し						
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ（2年） → 人文科学Ⅱ（4年）						
教材	教科書：北村正義編『新編 世界の歴史』（学術図書出版）資料集：『世界史タペストリー』（帝国書院）。						
備考	単位追認試験は次年度の6月（前期範囲）と1月（後期範囲）に実施する。						